

農業の専門化、大規模化に伴う問題

- 農業は生産自体に大変な手間がかかりますが、それ以外にも水路のメンテナンスなど、たくさんの作業が必要です。専門化・大規模化により、農業にかかわる人数が少なくなると、生産・管理の省力化のためのほ場整備や、農業に頼る農法がすすめられ、農地の生物多様性は失われやすくなります。
- 農業の大規模化はコストがかかりすぎ、それに見合う収入がなかなか得られません。機械が壊れたら農業を続けることが難しいという声も聞かれます。



わたしたちが考える 河北潟における持続可能な農業

- 農家に負担の少ない小規模の機械で対応できる規模の農業と非専門化
- 市民の農業への参加による農への関わりの拡大と、協働による環境保全型の農地管理の実現
- 野生生物と共存できる農法により、安全・安心の付加価値が付いた農産物の生産

わたしたちが目指すもの

- 田んぼごと(区域ごと)の生物認証制度のブランド化による生物多様性を守る稲作の実現

活動を成功に導くカギは

- 生物多様性認証米づくりへの農家の参加と、農家をサポートする市民の存在
- 環境と野生生物を守る農産物に対して付加価値を認められる消費者の理解

生産者と消費者をつなぐNPO

我が家の米を喜んでくれる方に食べてほしい。
減農薬を応援してくれる方に買ってもらいたい。
消費者の顔がみえると、がんばれる。

NPO
〇〇さんのお米がおいしい！
農薬の少ないお米が食べたい。
田んぼの環境保全につながるお米を買いたい。



河北潟湖沼研究所・友の会

だれでも気軽に参加できる枠組みです。

年会費 2000円(個人)

☆友の会会員の特典

機関誌が年1回、通信「かほくがた」が年4回、活動案内が届きます。河北潟カレンダーがもらえます。

NPO法人河北潟湖沼研究所

〒929-0342 石川県河北郡津幡町北中条ナ9-9
Tel 076-288-5803 / Fax 076-255-6941

E-mail info@kahokugata.sakura.ne.jp

URL <http://kahokugata.sakura.ne.jp>

発行 2014年1月1日

本パンフレットは Panasonic NPOサポートファンド助成事業を活用して作成しました。



新しい挑戦 喜びの農業



NPOと一緒にやろう



生物多様性認証ブランドをつくいませんか！

●生きもの元気米（生物多様性認証したお米）のしくみ●

田んぼごとに生物調査を実施します。



田んぼにどんな生きものがすんでいるのか、簡単な調査をおこないます。

すんでいる生きものでアピール。



田んぼにいる生きものを明記して、お米の価値をアピールします。

消費者とつながります。



生きもの元気米を求め人を募ります。首都圏のイベントなどで宣伝します。

▶生きもの元気米に参加するには

以下の3つの条件で、河北潟湖沼研究所と契約します。

1. 畦の除草剤散布をおこなわない。
2. ネオニコチノイド系農薬を使わず、ヘリコプターによる農薬の空散をおこなわない。
3. 田んぼの生きもの調査を依頼する。

▶生きもの元気米の契約をすると

- ・河北潟湖沼研究所の専門スタッフが田んぼごとの生きもの認証をおこないます。
- ・除草などの作業を手伝う市民ボランティアの協働をすすめます。

〈契約1〉

当研究所が付加価値を付けた値段で米を買い取ります。(生きもの調査は無料)

〈契約2〉

農家が自ら米を売る際に、付加価値をつけられるよう生物認証をおこない、研究所ホームページで紹介します。(生きもの調査は有料)

さらに一步すすんで、河北潟湖沼研究所では、生物多様性認証米に先駆けて、無農薬・手作りによる新ブランド「七豊米」を金沢市岸川の水田でつくっています。2013年度の七豊米は、日本最大級の環境イベント「エコプロダクツ2013」において、首都圏のみならずから高い評価をいただきました。河北潟の米についても、多くの方に興味を持っていただきました。

ハツタミズにいる田んぼ

七豊米
しちほうまい

7
つ
の
こ
だ
わ
り

- 手で田植え
- 丁寧に稲刈り
- 稲架干し
- 農薬不使用
- 歩いて草取り
- 優しく粳すり
- 循環式精米



河北潟の肥沃な環境から生まれた七豊米10kg7000円(2013年度実績)

